

高等学校における道德教育の推進について

～魅力ある道德の授業実践をめざして～

埼玉県立白岡高等学校 野口 真澄

1 はじめに ー研修題目設定の理由ー

埼玉県では、平成 22 年度から全体計画に基づく在り方生き方教育（道德教育）が全校実施となり、多くの高等学校で 2 年間「明日をめざして」を活用して道德教育を行って来た。しかし、高校の教員は道德教育に関する知識も乏しい上、情報も少ない中、各学校とも手探り状態で道德の授業を実施してきている。県作成の指導資料集の展開例やワークシートを参考に授業を行っているが、生徒の意見を引き出せず、つついワークシートでのまとめ中心の授業になってしまう。また、資料の活かし方がわからず、50 分授業の時間全ては間が持たないこともあるのが現状である。小・中学校で行われている授業を参考にし、高校での道德の授業の工夫の仕方を学び、魅力ある授業作りをしたいと考え、この研修題目を設定した。

2 研究について

(1) 本県高等学校における道德教育の推進について

平成 21 年 3 月高等学校学習指導要領の告示を受け、県教育委員会は同月、『『人間としての在り方生き方に関する教育』の推進方針』を策定した。そして、平成 22 年 3 月に在り方生き方教育指導資料「明日をめざして」が各学校に全生徒配布され、平成 22 年度から、全体計画に基づく在り方生き方教育が全校実施されることとなった。具体的には、ロングホームルーム等の時間において、道德教材を活用した学習を年間 5 回以上実施するよう努めるというものである。

(2) 他県の高等学校における道德教育

茨城県は、平成 19 年度から全国で初めて、全ての県立高校で道德の授業を必修化した。埼玉県は平成 22 年度から実施されている。現在、道德の授業を設定して、組織的に道德教育を行っているのは、この 2 県のみである。来年度から千葉県でも道德の授業が導入される。

①茨城県での取り組み

1 年生を対象に、「総合的な学習の時間」を利用して週 1 時間（年間 35 時間）道德の授業を行っている。県作成の生徒用テキスト「高校生の『道德』 ともに歩む ー今を、そして未来へー」を生徒全員が購入し、使用している。教師用指導資料も作成され、茨城県内の高等学校における「道德」についての基本的な考え方や「生徒用テキスト」を使用した「道德」の指導などがわかりやすくまとめられている。また、全校で公開授業を実施しており、県教育委員会のホームページで日時の一覧表を見ることができる。

②その他の取り組み

兵庫県立猪名川高等学校では、平成 23 年度から 3 年間、文部科学省の社会人基礎力育成カリキュラム開発事業の研究開発学校として、全学年で 1 単位の「道徳」の授業を実施している。全国で 1 校のみの取り組みで、高校用テキストは作成されていないので、中学校の内容項目で自作資料や中学校の副読本を使用して授業を行っている。

3 研究の具体的な実践

本校の実施計画の中より、道徳の学習指導案を提案した。3 学年同じ資料を使うよう計画されており、授業の後、外部講師による講演会が行われた。学習指導案は 2 学年向けに作成したが、各学年で実践していただけた。資料の文章から答えを導くような作業になってしまう、資料の内容がわかりやすいので時間がかからずに話し合いやワークシートが終わってしまう、生徒の発言が少なく、活発な授業にならないなどの道徳の授業を進める上での問題点を考慮し、作成した。

道徳学習指導案の提案

- 1 主題名 夢や目標の実現 (1 - (2) より高い目標を目指し、達成しようとする強い意志に関すること)
- 2 ねらいと資料
ねらい より高い目標を目指し、希望と勇気をもってしなやかに対処しながらやり抜く意思を養う。
資料名 投げ出すこと、やめることとは違います ~海洋冒険家 白石康次郎~
(『明日をめざして一高校生のための「人間としての在り方生き方に関する教育」一』
埼玉県教育委員会 所収)
- 3 資料をもとにどのようにねらいにせまるか
白石さんが失敗しても何度もチャレンジする理由について考えさせ、白石さんにとっての「諦めること」と投げ出すこと、やめることとの違いについて気付かせる。そして、生徒自身が夢や目標を実現させるためにこれからどのようなことに心掛けていけばよいかを考えさせる。
- 4 学習指導過程
(1) 事前の学習 (押さえ)
前日の帰りの SHR で、小・中学校の頃の夢や目標、そのために努力したことなどについて思い出し、事前の学習用紙に記入しておくように伝える。

(2) 本時の学習指導過程

	主な学習活動	主な発問と子どもの心の動き	留意点
導入	1 今までに夢や目標をもって取り組んだ経験を話し合う。	今までに夢や目標をもって取り組んだことはありますか。その夢や目標が達成できなかった経験はありますか。達成できなかった理由を思い出してみてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校時代に、学習、部活動や習い事等、夢や目標の実現に向けて取り組んだ経験を思い出させ、学習内容への興味・関心をもたせる。
展開	2 白石康次郎氏について知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・白石氏の写真を掲示し 簡単に紹介する。 ・ヨットレースについての簡単な説明（資金、生死など）をする。
	3 資料を範読する。		<ul style="list-style-type: none"> ・資料の世界により入り込めるようにBGMなどを用意する。
	4 各自がワークシートに記入する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1、2に記入するよう指示する。
閉	5 5～6人(4人)グループを作り、話し合う。	<p>白石さんは、なぜ、失敗しても何度もチャレンジするのだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海やヨットが好きだから。 ・高校生の頃からの夢だから。 ・自分に負けたくない。 ・恩師のために ・自然と格闘したい。 <p>白石さんは、「諦めること」は『明らかに』『見極める』ことと言っていますが、「諦めること」と「投げ出すこと、やめること」はどう違うと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的に判断すること ・自己選択、自己認識すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに報告用紙を用意する。 ・司会、記録係、発表者を決めさせる。 ・話し合いがうまく進んでいないグループにはアドバイスする。 ・「夢を諦めない」と一般的によく使うときの意味と混同しないように気を付ける。

	6 話し合った内容についてグループの代表が発表する。	・ 中断すること	・ 見極め、引き返すことを決断することの大切さについても気付かせる。
	7 自分の生き方を考える。ワークシートに記入する。	自分の夢や目標を実現させるために、これからどのようなことを心掛けていけばよいと思いますか。	・ 夢や目標を達成できなかったときの理由も踏まえ、実現するために、どのようなことに心掛ければよいかを考えさせる。
終末	8 教師の説話を聞く。		・ 教師自身のこと、教え子のことなど。

(3) 事後の指導

- ・ 午後の講演会（女子バスケットボール選手としてアテネオリンピックに出場、現在共栄大学 女子バスケットボール部の監督）への意識付けになるようにする。
- ・ ワークシートの感想等を読み、コメントを加えて返却する。
- ・ 進路学習において、より高い夢や目標を目指しやり抜くことができるような指導を行う。

<先生方の感想>

生徒が白石さんを知らないので、白石さんについての説明に時間がかかってしまい、グループでの話し合いや発表の時間を充分とることができなかった。生徒がグループディスカッションや発表をしたことはよかったが、時間が足りなかったという感想を多くいただいた。

グループディスカッションについては、これまでにやったことがあるクラスとないクラスとに差があったように思われる。

4 おわりに ー研究のまとめと今後の課題

今まで、資料分析や基本発問の作り方などを学んできたが、まだまだ難しく私自身納得のいく学習指導案を作成することができない。指導資料集の展開例に工夫が加えられるよう、努力して行きたい。そうすることによって、資料の内容がわかりやすいので短時間で授業が終わってしまうという問題点は解決すると思う。また、今回の授業実践ではグループディスカッションがうまくできたとは言えないが、資料によってはこのような活動を取り入れ、教師や生徒も経験を重ねることによって活発な授業を展開できるようになると考える。

今後、残された研修期間で高校の先生方に活用していただけるような授業の工夫や資料開発に努めたい。